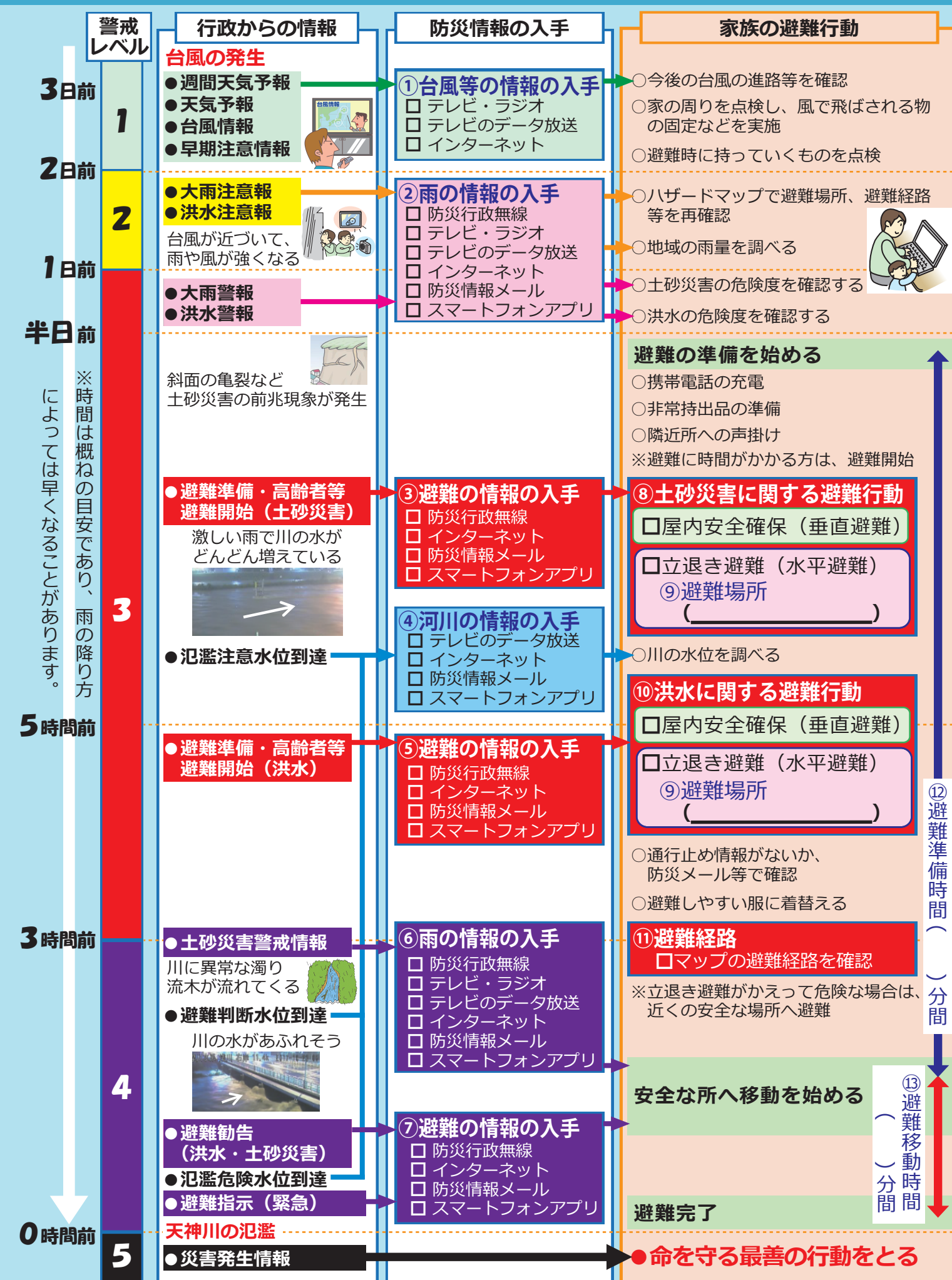


命を守る避難行動計画（マイ・タイムライン）



倉吉市

洪水・土砂災害ハザードマップ

命を守る 3つのポイント

- ① どこが危険かを知る。
- ② どこに避難すればよいかを知る。
- ③ いつ避難すればよいかを知る。

『命を守る避難行動計画（マイ・タイムライン）を作しましょう』

こうなる前に・・・



倉吉駅周辺で想定されている浸水の深さは約5mです。



令和2年（2020年）3月発行

倉吉市総務部防災安全課：〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722 TEL 0858-22-8162 FAX 0858-22-1087

1. 天神川水系の特徴を知る P 1

- (1) 天神川水系の特徴
- (2) 天神川水系の過去の水害
- (3) 天神川水系の水位上昇の速さ

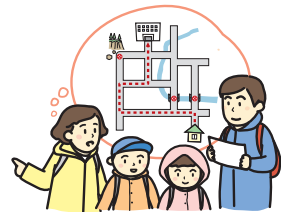
2. 自宅周辺の危険性を知る P 3

- (1) 洪水による危険性を知る
- (2) 土砂災害による危険性を知る
- (3) 洪水の危険性と避難行動
- (4) 土砂災害の危険性と避難行動



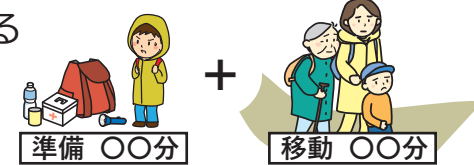
3. 避難場所と避難経路を決める P 5

- (1) 避難場所を知る
- (2) 避難場所を決める
- (3) 避難経路を決める



4. 避難に必要な時間を確認する P 6

- (1) 避難に必要な時間を確認する



5. 避難に必要な防災情報を知る P 7

- (1) 洪水及び土砂災害の情報を知る
- (2) 台風情報を知る
- (3) 雨の情報を知る
- (4) 河川の水位を知る
- (5) 警戒レベルと避難勧告等の情報を知る
- (6) 防災情報の入手方法を知る
- (7) 防災情報の入手方法を定める



6. 避難に必要な備え P 11

- (1) 避難時に必要なものを準備する
- (2) 避難時の留意点



命を守る避難行動計画（マイ・タイムライン） P 69

ハザードマップとは

- ◆ 「ハザードマップ」とは、水害や土砂災害などの危険がある場所を地図に示して災害に備えたり、住民が適切に避難できるようにするためのもので、市町村が基本的に作成・公表しています。

倉吉市の洪水・土砂災害ハザードマップについて

- ◆ 倉吉市の洪水・土砂災害ハザードマップは、国土交通省所管の天神川水系の天神川、小鴨川、国府川に加え、鳥取県所管の15河川の浸水のおそれがある区域を記載しています。また、土砂災害のおそれがある土砂災害警戒区域等を記載しています。
- ◆ 天神川、小鴨川、国府川は、1,000年に1度起こるかどうかの猛烈な豪雨（想定最大規模の降雨）によって堤防が壊れる（堤防決壊）という最悪の事態を想定し、浸水の深さや家屋倒壊等の範囲を予測したものです。
- ◆ 鳥取県所管の15河川は、50年に1度起こるかどうかの豪雨を対象としています。
- ◆ 天神川、小鴨川、国府川は、平成10年台風第10号の降雨を参考に、想定最大規模の降雨を566mm/24時間とし、浸水想定区域を設定しています。

【ハザードマップ編（洪水・土砂災害）】

洪水・土砂災害のおそれがある地域 P 15～P 68

避難行動計画（マイ・タイムライン）とは

- ◆ マイ・タイムライン※は、台風の接近によって豪雨のおそれがあるときなど、洪水時や土砂災害時に自分自身や家族がとる防災行動を時系列的に整理した行動計画表です。
- ◆ 天神川水系の河川は、水位上昇速度が速いため、急な判断を迫られることが想定されます。
- ◆ 自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を決めておきましょう。

※「マイ・タイムライン」は、平成27年9月に起きた関東・東北豪雨の鬼怒川の氾濫による被害を教訓に、常総市や国土交通省等が、犠牲者ゼロの目標に向けて始めた取り組みです。

避難行動計画（マイ・タイムライン）の作成について

- P 1～P 68を確認し、各ページの『やってみよう！』を記載し、P 69にも記載することで、**避難行動計画（マイ・タイムライン）が完成**します。
- いざという時は、このマイ・タイムラインを確認して、行動しましょう！

(7) 防災情報の入手方法を定める

やってみよう！

例えば
10ページ

避難に必要な防災情報について、複数の入手方法を決めましょう。
入手する防災情報にチェック☑をして、日頃から使ってみましょう。

情報の種類	主な情報の入手手段
①台風等の情報	☒ テレビ・ラジオ ☒ テレビのデータ放送 ☒ インターネット

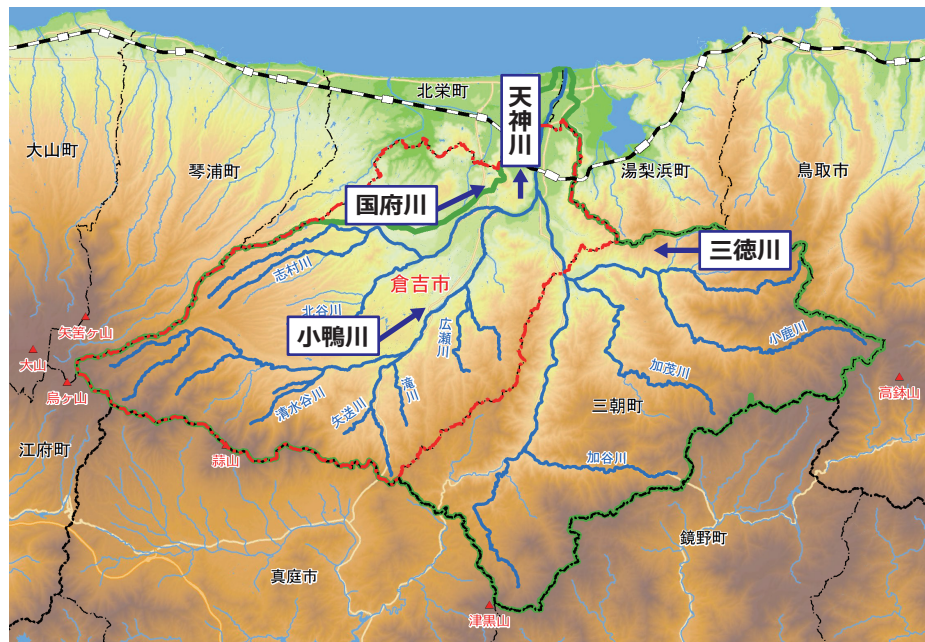
P69へ

P69のマイ・タイムライン
①台風等の情報の入手 ☒ テレビ・ラジオ ☒ テレビのデータ放送 ☒ インターネット

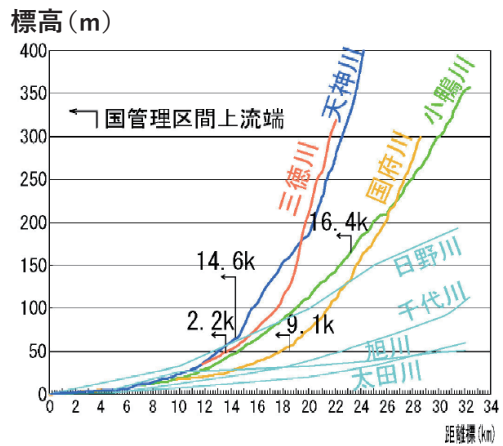
1. 天神川水系の特徴を知る

(1) 天神川水系の特徴

天神川は、全国の一級水系の中でも急流で、倉吉市の市街地付近において小鴨川や三徳川が合流しており、洪水が発生しやすい地形です。



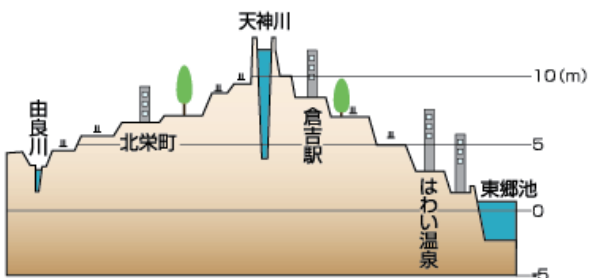
天神川と近傍河川の縦断面図



出典：倉吉河川国道事務所 HP 掲載資料より



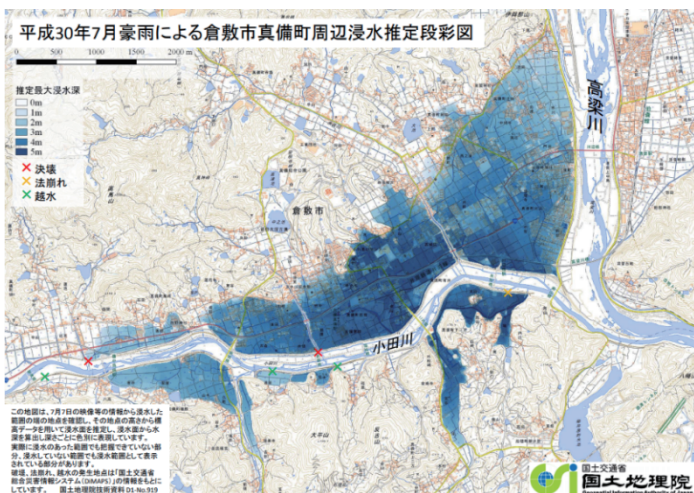
洪水時の河川水位は周辺の地盤より高くなっており、洪水により一度氾濫すると、その影響は、広範囲に及ぶことが想定されます。



出典：倉吉河川国道事務所 HP 掲載資料より

コラム 河川の合流点付近は、水害の危険性が高いです。

- ◆ 令和元年台風第 19 号の大雨で堤防が決壊した 71 河川において、約 8 割の河川が、支流と本流の合流点から約 1 キロの範囲であったとされており、合流点の近くは水害の危険性が高いと考えられます。
- ◆ 平成 30 年 7 月豪雨で被災した岡山県倉敷市真備町では、高梁川と小田川の合流地点付近が湾曲して水が流れにくくなり、上流側の水位が上昇する「バックウォーター現象」が発生し、流れなくなった水は勾配が緩やかな小田川にたまり、決壊したと想定されています。
- ◆ 実際の浸水範囲と配布されていたハザードマップの範囲は、ほぼ一致していました。



岡山県倉敷市真備町における浸水範囲

- ポイント
- ①天神川水系の河川は急勾配のため、水位上昇速度が速い。
 - ②倉吉市の市街地は河川の合流点付近にあるため、水害危険性が高い。

(2) 天神川水系の過去の水害

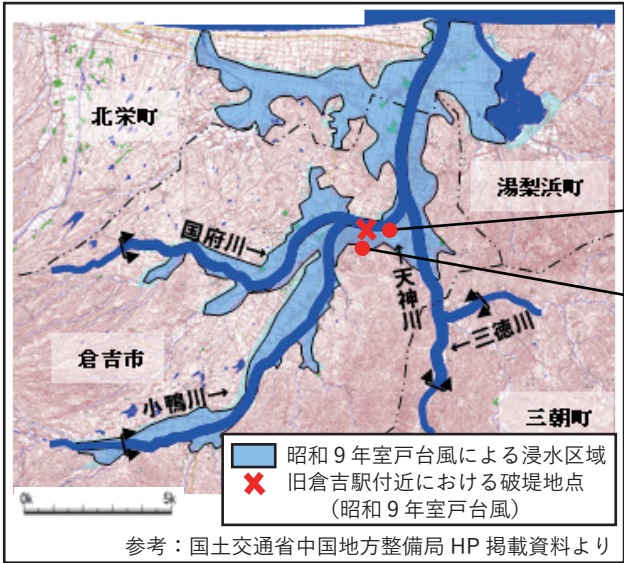
- ◆ 昭和 9 年室戸台風では、小鴨川の堤防が多くの箇所で決壊し、氾濫した濁流は「一朝にして当時の小鴨村、倉吉町を石河原と化し一面の泥海に変じた」と言われました。
- ◆ 昭和 34 年伊勢湾台風では、戦後最大の大雨により、小鴨川筋の生竹、関金地区等に相当の被害が発生し、多くの橋梁（当時は木橋が大半）が流失しました。
- ◆ 近年では、平成 10 年台風第 10 号の大雨により、17 棟の床上浸水が発生しました。

【主な洪水と被害の状況】

発生日月	発生原因	流域平均 2 日間雨量	被害状況	備考
昭和 9 年 9 月 20 日 (86 年前)※	室戸台風	294.3mm	家屋被害：約 7,300 戸	観測史上最大の洪水
昭和 34 年 9 月 20 日 (61 年前)※	伊勢湾台風	351.3mm	家屋被害：約 135 戸	戦後最大の洪水
平成 10 年 10 月 19 日 (22 年前)※	台風第 10 号	220.7mm	家屋被害：53 戸	

※〇年前は、2020 年を基準に記載しています。

昭和 9 年室戸台風における浸水範囲



参考：国土交通省中国地方整備局 HP 掲載資料より

被災状況 (当時) 現在



東中学校裏の惨状



東仲町の元帥酒造周辺

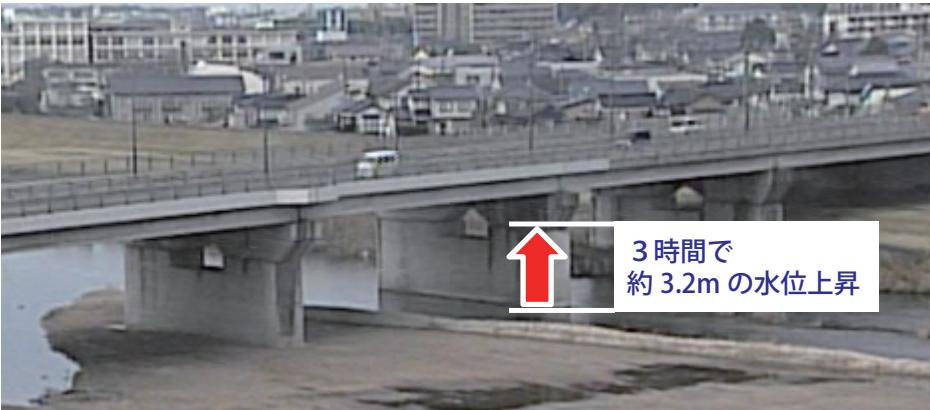


出典：倉吉河川国道事務所 HP 掲載資料より

(3) 天神川水系の水位上昇の速さ

天神川は急流河川で、三方から支川の水が集まるため、水位上昇速度が速く、平成10年台風第10号では、3時間で約 3.2m 水位上昇しました。

参考：倉吉河川国道事務所 HP 掲載資料より

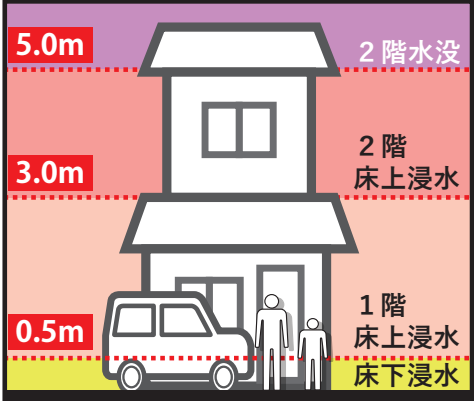


3時間で約 3.2m の水位上昇

天神川の水位上昇のイメージ

2. 自宅周辺の危険性を知る

(1) 洪水による危険性を知る



浸水深 0.5 ～ 3.0m 未満のイメージ



浸水深 3.0 ～ 5.0m 未満のイメージ



浸水深 0.5m 未満のイメージ



浸水深 0.5m でも、大人がドアを開けることができないほどの水の力がかかります。

出典：関西大学工学部都市環境工学科資料より

浸水深が深かったり、家屋倒壊等氾濫想定区域となっている地域では、命を守る行動をとることが必要です。

家屋倒壊等氾濫想定区域

近くの堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域です。

この区域では、屋内での待避（垂直避難）ではなく、避難場所等への立ち退き避難（水平避難）が必要です。

氾濫流

河川堤防の決壊または洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域



河岸浸食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域



(2) 土砂災害による危険性を知る

土石流

- 雨で崩れ落ちた土砂や岩が、一気に押し寄せてくる
- スピードが速い
- 谷の出口で扇型に広がる

広域的な被害が発生する

がけ崩れ

- がけの上の家も崩壊する可能性がある
- がけの高さの2倍の距離まで土砂が崩れてくる

局所的な被害が発生する

地すべり

- ゆるい傾きの斜面が、広い範囲にわたってすべり落ちる現象
- 地すべりの動く速さは、目に見えないほどゆっくり

広域的な被害が発生する

土砂災害特別警戒区域

流出した土砂によって家屋が破壊される可能性がある範囲
⇒ 左図の赤色の範囲

土砂災害警戒区域

流出した土砂が到達する可能性がある範囲
⇒ 左図の黄色の範囲

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の詳細は、『とっとりWebマップ』で確認できます。

とっとりWebマップ 検索

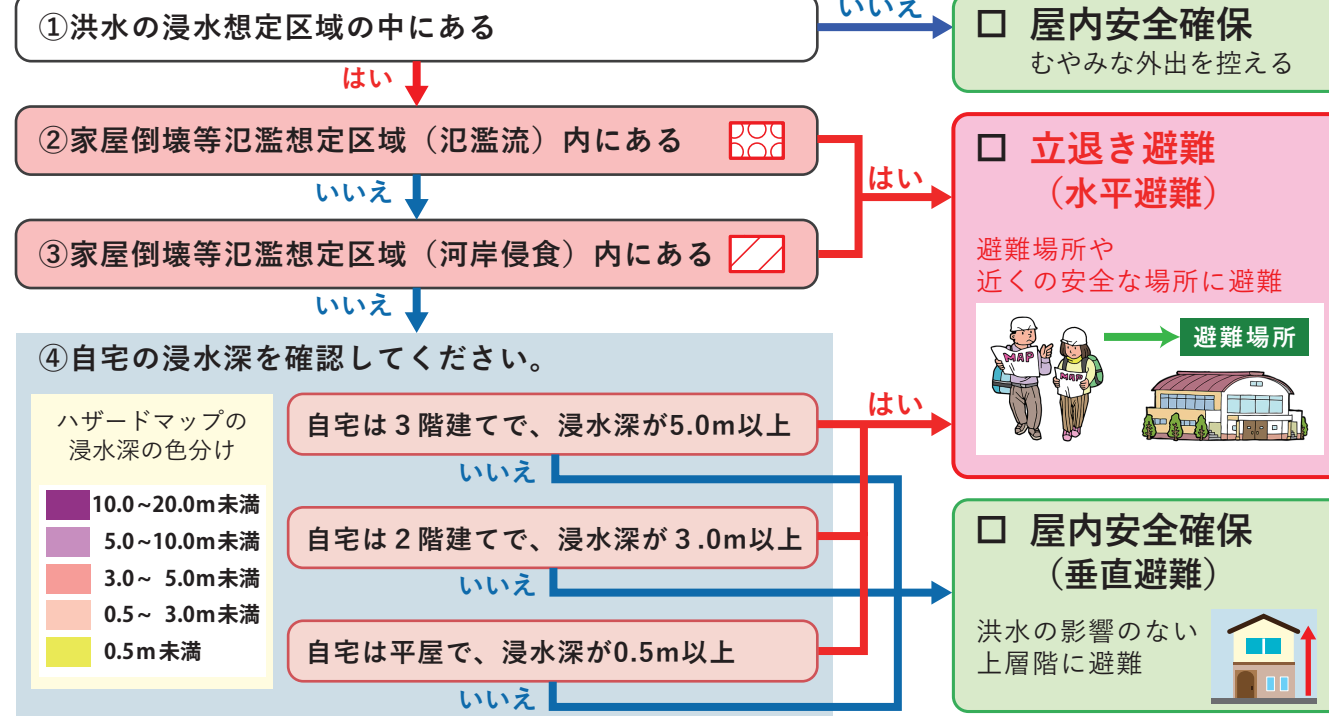
<http://www2.wagmap.jp/pref-tottori/top/select.asp?dtp=9&pl=3>

- ポイント
- ① 自宅周辺の洪水及び土砂災害の危険性を確認してください。
 - ② 『屋内安全確保』か『立退き避難』のどちらか確認してください。

(3) 洪水の危険性と避難行動

やってみよう！

- ◆ ハザードマップ上で自宅の場所を確認し、マジック等で印をつけてください。
- ◆ ハザードマップ上で自宅周辺の洪水の危険性を確認してください。
- ◆ 『屋内安全確保』『立退き避難』のどちらですか？ 避難行動にチェック☑をしてください。

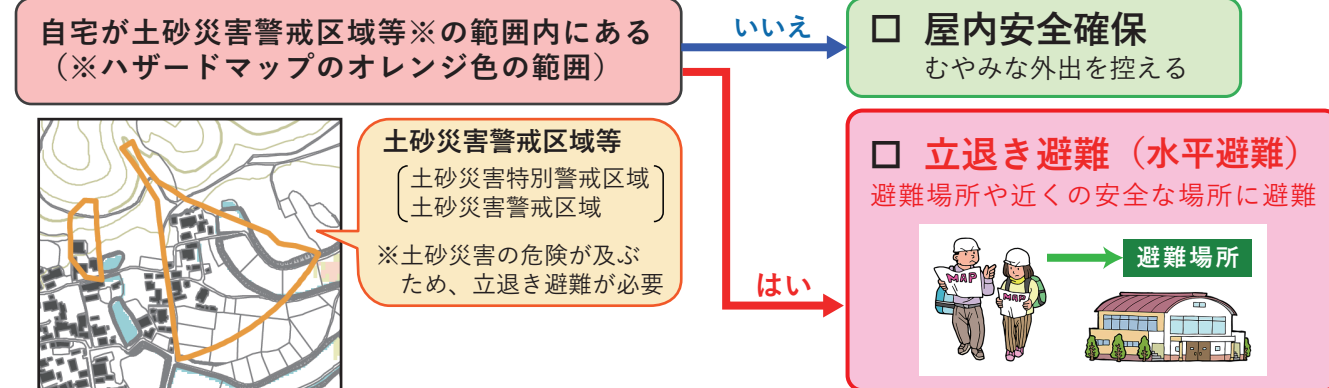


👉 P69の⑩の欄にも同じチェックをしてください。

(4) 土砂災害の危険性と避難行動

やってみよう！

- ◆ ハザードマップ上で自宅の場所を確認し、マジック等で印をつけてください。
- ◆ ハザードマップ上で自宅周辺の土砂災害の危険性を確認してください。
- ◆ 『屋内安全確保』『立退き避難』のどちらですか？ 避難行動にチェック☑をしてください。



👉 P69の⑧の欄にも同じチェックをしてください。

3. 避難場所と避難経路を決める

ポイント ①家族や隣近所と、安全な避難場所と避難経路を決めてください。
②決めた避難場所と避難経路を実際に歩いて、確認してください。

(1) 避難場所を知る ～ 大雨時に開設する指定避難所について ～



倉吉市では、洪水や土砂災害の危険性に応じて、避難場所を決めています。
このハザードマップで安全な避難場所を確認しましょう。

● 自主避難の段階 (警戒レベル1～2)	倉吉市営武道館、河北中学校、小鴨小学校、久米中学校、関金小学校（5か所） ※地域の自主防災組織にも公民館等を利用した自主避難所の開設及び運営の協力をお願いしていますので、まずは、お住まいの地域の自主防災組織にご相談ください。
● 避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）又は避難勧告（警戒レベル4）の発令段階	上北条小学校、河北小学校、河北中学校、西郷小学校、上灘小学校、倉吉市営武道館、明倫小学校、灘手小学校、久米中学校、倉吉農業高等学校、北谷小学校、高城小学校、小鴨小学校、西中学校、倉吉養護学校、上小鴨小学校、関金小学校、旧山守小学校、県立農業大学校（19か所）
● 更に気象状況等が悪化し、避難場所の増設を要すると判断した段階（警戒レベル4～5）	伯耆しあわせの郷、倉吉北高等学校、鳥取短期大学、倉吉体育文化会館、倉吉総合看護専門学校、倉吉未来中心、倉吉市営体育センター、成徳小学校、倉吉福祉センター、倉吉農村環境改善センター、鴨川中学校、関金町山口多目的研修集会施設（12か所）
● 予備（上記の段階においても避難場所が不足する場合）	倉吉スポーツセンター、鳥取中央農業協同組合、灘手保育園、社小学校、社保園、北谷保育園、関金保育園、関金農林漁業者等健康増進施設（8か所）
● 福祉避難所（要配慮者を滞在させる施設）	伯耆しあわせの郷、倉吉シティホテル、倉吉交流プラザ、高齢者生活福祉センター（4か所）

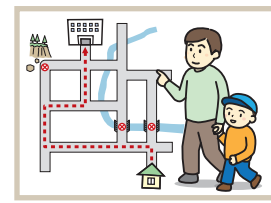
(2) 避難場所を決める

やってみよう！

避難場所の考え方 上記の避難場所から、自宅の最寄りの安全な避難場所を確認してください。また、避難場所は一つではなく、複数決めておくことが望ましいです。



ハザードマップ上で自宅から最寄りの安全な避難場所を確認し、マジック等で印をつけてください。



P69の⑨の欄に避難場所を記入してください。

(3) 避難経路を決める

やってみよう！

避難経路の考え方 避難経路は、浸水深の深い箇所や土砂災害の危険箇所、河川の近くや橋を渡るのは避けましょう。また、大雨の際に頻繁に浸水している箇所も避けましょう。夜間の避難も想定して、日頃から夜間でも安全な避難経路を確認しておきましょう。

ハザードマップ上で自宅から避難場所までの安全な経路について、家族や隣近所の方と一緒に避難経路を考え、マジック等で結んでください。

P69の⑪の欄にチェックをしてください。

4. 避難に必要な時間を確認する

ポイント 『避難勧告等』が発令されても、すぐに避難することは難しいため、【避難準備にかかる時間】と【移動にかかる時間】を把握してください。

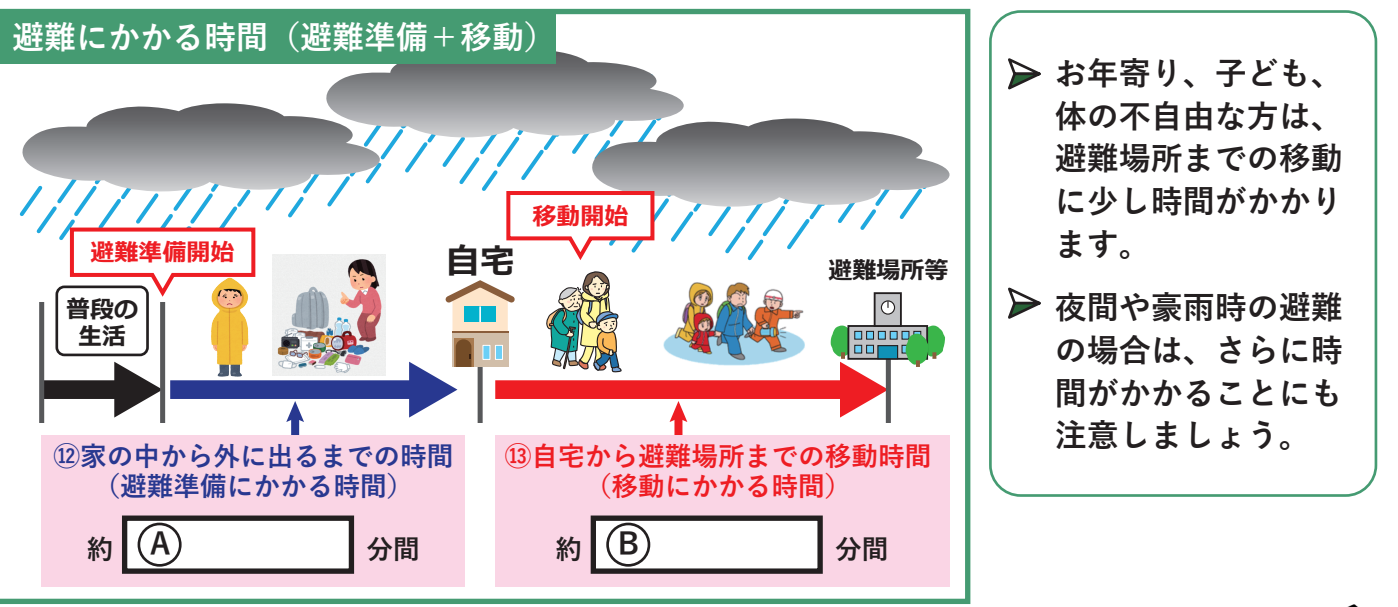
(1) 避難に必要な時間を確認する

やってみよう！

時間の考え方 家から避難する際、家の中から外に出るまでの時間【避難準備にかかる時間】と、自宅から避難場所まで移動する時間【移動にかかる時間】がかかります。実際に行動してみて、時間を計ってみましょう。

避難準備にかかる時間			避難の際に準備することを考え、○印部分に●を塗ってみましょう。 また、準備に必要な時間を（ ）に記入しましょう。
○ 重要書類の移動 (分間)	○ 自動車の浸水防止 (分間)	○ 家電製品の移動 (分間)	その他・メモ (当日にすること) (分間)
○ アルバムの移動 (分間)	○ 衣類の移動 (分間)	○ 畳の浸水防止 (分間)	
○ 自宅の浸水対策 (分間)	○ ガス・電気の確認 (分間)	○ 避難場所等の再確認 (分間)	
○ 非常食等の準備 (分間)	○ ペットの避難準備 (分間)	○ 連絡・声掛け (分間)	
合計 約 ① 分間			

移動にかかる時間	避難場所までの移動時間がどれくらいかかるか、実際に歩いて確認してください。	約 ② 分間
----------	---------------------------------------	--------



P69の⑫⑬の欄にも同じ時間を記入してください。

5. 避難に必要な防災情報を知る

(1) 洪水及び土砂災害の情報を知る

豪雨のおそれのある時に得られる情報は、台風、雨、河川、避難に関する様々な情報があります。これらの情報は時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて、的確に判断しましょう。

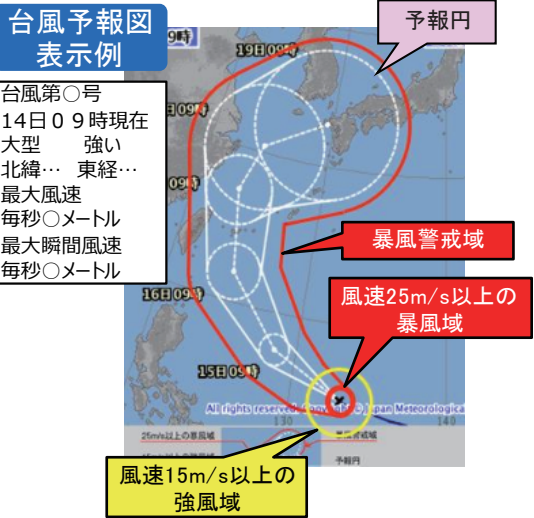


情報の種類	情報の名称と見るポイント (📌)	主な情報の入手手段
台風等の情報	■週間天気予報、天気予報 ■台風情報 📌台風の大きさ、強さ、進路 ■早期注意情報 📌警報級の可能性	☐ テレビ・ラジオ ☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット
雨の情報	■大雨注意報、洪水注意報 ■大雨警報、洪水警報 ■土砂災害警戒情報 ■大雨特別警報 📌雨の降っている地域(河川の上流) 📌今後の見通し	☐ 防災行政無線 ☐ テレビ・ラジオ ☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ
河川の情報	■氾濫注意情報 ■氾濫警戒情報 ■氾濫危険情報 📌近くの川の水位 📌上流の川の水位(今後の見通し)	☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ
避難の情報	■避難準備・高齢者等避難開始 ■避難勧告 ■避難指示(緊急) ■災害発生情報	☐ 防災行政無線 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ

(2) 台風情報を知る

台風に関する情報(気象庁)

台風の中心位置や強さ、進路予測などに関する情報を発表。



5日先までの進路及び強さの予報を発表

台風の“大きさ”と“強さ”

- ◆「大きさ」は強風域(風速 15m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。
- ◆台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。

台風の大きさの階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

台風の強さの階級	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上



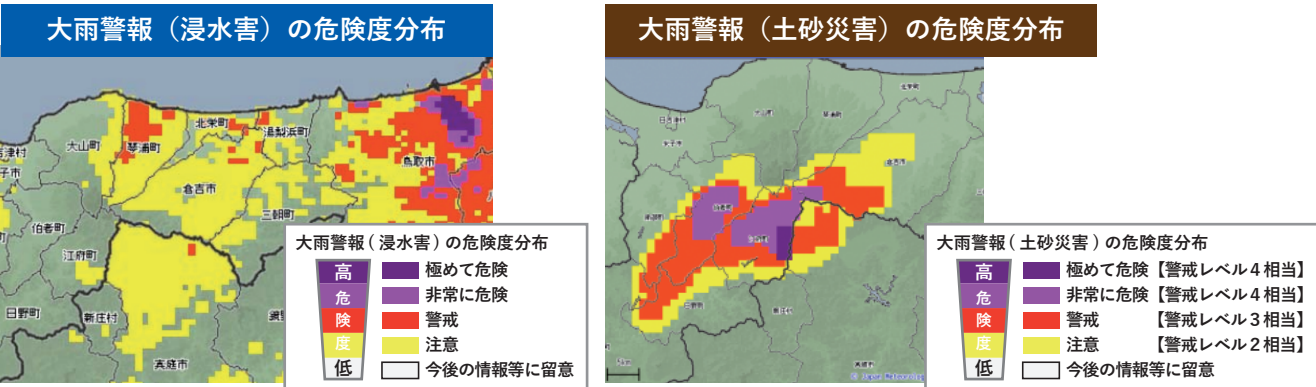
参考：気象庁ホームページ
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/1-3.html>

- ポイント👉
- ①台風、雨、河川、避難に関する情報の種類を覚えてください。
 - ②大雨警報(浸水害・土砂災害)の危険度分布を覚えてください。

(3) 雨の情報を知る

情報の種類	情報の内容	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報(浸水害・土砂災害)	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表します。	既に災害が発生している可能性が高い状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報	「命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない」という基準を設定し、避難にかかる時間を考慮して2時間先までに基準に到達すると予測されたときに速やかに発表します。	倉吉市が避難勧告を発令する目安となる情報です。 速やかに避難場所へ避難しましょう。	警戒レベル4相当
洪水警報	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。	倉吉市が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。 避難に時間の要する人(お年寄りの方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3相当
大雨警報(浸水害・土砂災害)	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。	気象庁より、注意喚起のために発表する情報です。 ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難場所、避難経路を確認してください。	警戒レベル2
洪水注意報	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。		
大雨注意報	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。		
早期注意情報(警報級の可能性)	警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報(警報級の可能性)」として[高]、[中]の2段階で発表します。	最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。	警戒レベル1

- ◆気象庁では、1時間先までの雨量予測を用いて大雨による浸水害の危険度を地図上に5段階で色分け表示しています。
- ◆「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」は、土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表されたときに、2時間先までの雨量及び土壌雨量指数の予測値を用いて、土砂災害の危険度分布を地図上に5段階で色分け表示しています。
- ◆これらの情報を活用することで、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

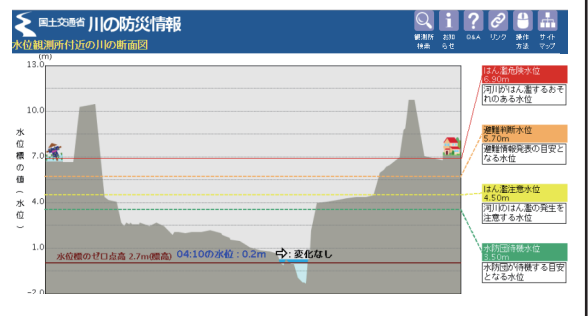


5. 避難に必要な防災情報を知る

(4) 河川の水位を知る

- ◆ 浸水想定区域図の浸水の深さにかかわらず、堤防の近くにいる人は早めに避難が必要です。
- ◆ 川の水位は、高さに伴う危険度によって区分されています。

川の防災情報



洪水警報の危険度分布



多くの人が犠牲となった
高齢者福祉施設

水位レベル5 氾濫が発生したときには

水位レベル4 氾濫危険水位に到達すると

水位レベル3 避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇や氾濫危険水位への到達が見込まれる場合

水位レベル2 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合

氾濫発生情報の発表

氾濫危険情報の発表

氾濫警戒情報の発表

氾濫注意情報の発表

◆ 洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報です。

◆ 3時間先までの中小河川の洪水発生の危険度の予測を5段階の色分けで表示しています。

◆ 天神川には、大雨の時の河川氾濫への備えとして、河川監視カメラが設置されています。

◆ このカメラでは、河川の水位、水流の勢いを常時確認できますので、気象情報と併せて活用してください。

※大雨時に河川の様子を見に行くのは非常に危険です。

天神川 河川監視カメラ

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/220875.htm>

(5) 警戒レベルと避難勧告等の情報を知る

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等	防災気象情報（自主的に避難行動をとる際の参考情報）
警戒レベル5	既に災害が発生している可能性が高い状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 [倉吉市が発令]	氾濫発生情報、大雨特別警報（浸水害・土砂災害）等
警戒レベル4 [全員避難]	速やかに避難場所へ避難しましょう。倉吉市が開設している避難場所までの移動が危険と思われる場合には、近くの安全な場所や2階等の自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。	避難指示（緊急） 避難勧告 [倉吉市が発令]	氾濫危険情報、土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 [高齢者等は避難]	避難に時間の要する人（お年寄りの方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 [倉吉市が発令]	氾濫警戒情報、洪水警報、大雨警報（浸水害・土砂災害）等
警戒レベル2	災害に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報、大雨注意報 等 [気象庁が発表]	氾濫注意情報 等
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 等 [気象庁が発表]	-

ポイント さまざまな防災情報の入手方法を決めて、日頃から登録・活用してください。（レジャー等にも活用できます）

(6) 防災情報の入手方法を知る【参考】

インターネット

鳥取地方気象台のホームページ

週間天気予報は、毎日11時、17時、天気予報は、5時、11時、17時に発表し、台風の進路及び強さの予報は、5日先までの予報を発表します。

URL <https://www.jma-net.go.jp/tottori/>

川の防災情報

気象情報、水害及び土砂災害の危険性に関する情報が一つのサイトにまとまっています。



川の防災情報 検索

URL <https://www.river.go.jp/>
<http://i.river.go.jp/>（携帯版）

倉吉市ホームページ

発令中の避難情報や避難場所の開設状況等を確認できます。

PC用URL <https://www.city.kurayoshi.lg.jp/>
携帯コンテンツURL <https://www.city.kurayoshi.lg.jp/m/>

テレビのデータ放送

地上デジタル放送（NHK）のdボタン

気象情報や河川情報を入手することができます。



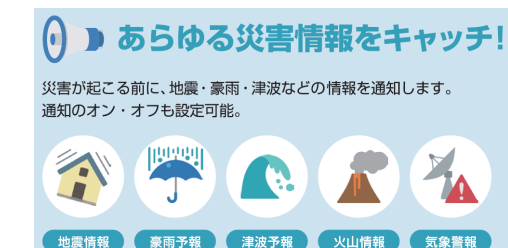
天気予報の確認 「防災・生活情報」を選択

スマートフォンアプリ

Yahoo! 防災速報（アプリ）

あらゆる災害情報をキャッチ！

災害が起こる前に、地震・豪雨・津波などの情報を通知します。通知のオン・オフも設定可能。



地震情報 豪雨予報 津波予報 火山情報 気象警報

iPhone版 App Store からダウンロード
Android版 Google Play で手に入れよう

防災情報メール

倉吉市メール配信サービス

防災情報などを電子メールで配信しています。

●登録・変更用アドレス宛（kurayoshi@xpressmail.jp）に、空メールを送信する。



(7) 防災情報の入手方法を決める

避難に必要な防災情報について、複数の入手方法を決めましょう。入手する防災情報にチェック☑をして、日頃から使ってみましょう。



情報の種類	主な情報の入手手段
①台風等の情報	☐ テレビ・ラジオ ☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット
②⑥雨の情報	☐ 防災行政無線 ☐ テレビ・ラジオ ☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ

情報の種類	主な情報の入手手段
④河川の情報	☐ テレビのデータ放送 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ
③⑤⑦避難の情報	☐ 防災行政無線 ☐ インターネット ☐ 防災情報メール ☐ スマートフォンアプリ

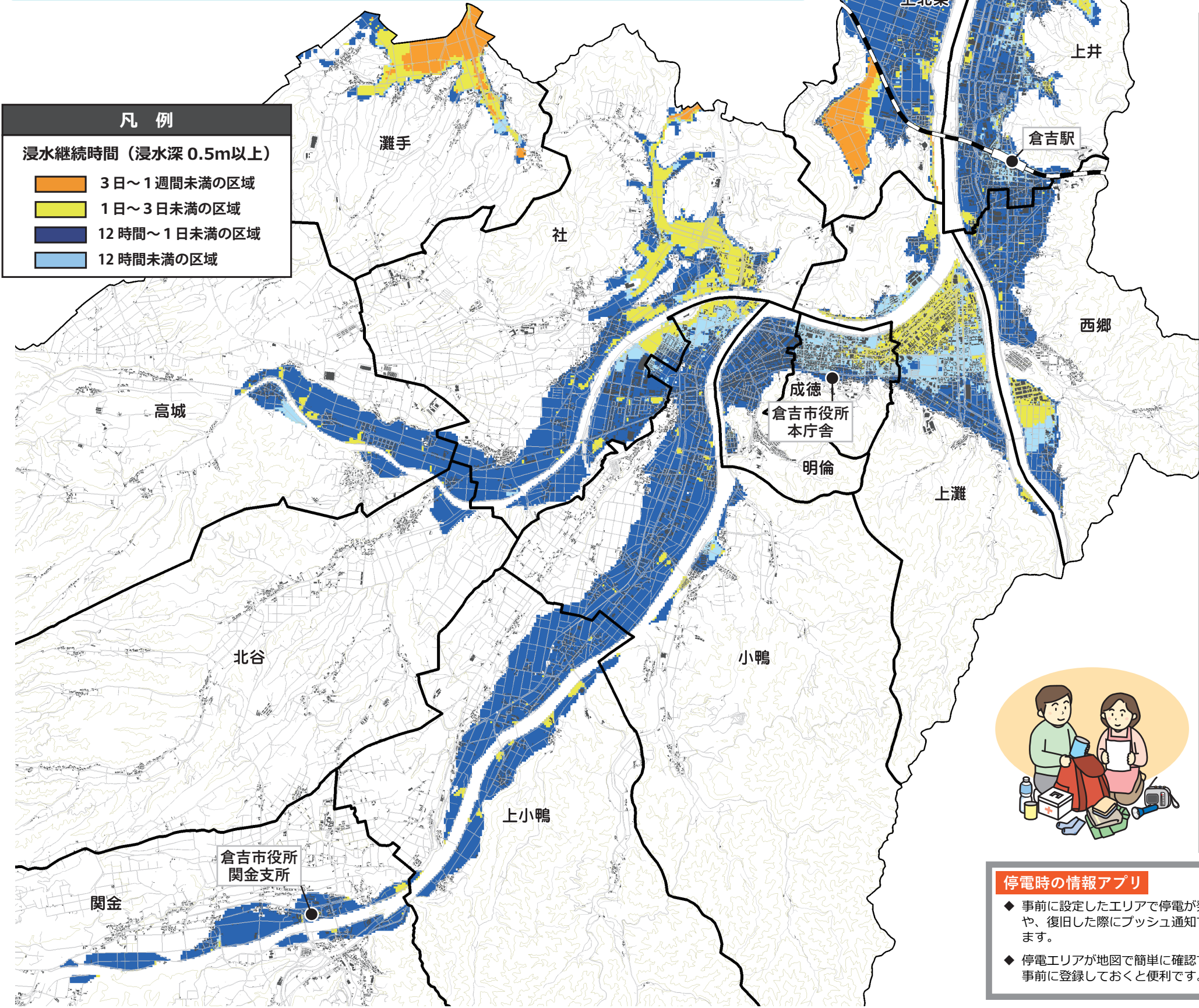
👉 P69の①～⑦の欄にもチェックをしてください。



6. 避難に必要な備え

【参考】 倉吉市における浸水継続時間

洪水による浸水が「屋外への避難が困難となる浸水深 0.5m」に達してから、その水深を下回るまでにかかる時間です。この時間を参考に家族で備蓄に取り組みましょう。



- ポイント
- ① 氾濫した場合、24時間（1日）以上も水が引かない地域があります。
 - ② 0.5m以上の浸水になると、電気などが使用できない可能性があります。
 - ③ 生活に必要なものを事前に備蓄しておくことが重要です。

（1）避難時に必要なものを準備する

☒ チェックしましょう！

家庭で行う備蓄品リスト

※下記はあくまでも一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

水・食料	☐ 飲料水（1人1日3リットル） ☐ 携行食・非常食 ※ビスケット・缶詰など
医療・衛生	☐ 薬・お薬手帳 ☐ 救急医療品 ☐ 生理用品 ☐ 歯ブラシ・口腔ケア用品 ☐ 防塵マスク
貴重品	☐ 現金 ☐ 印鑑 ☐ 健康保険証・預金通帳 ※コピー可
安全対策	☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ 厚底の運動靴 ☐ 軍手
道具類	☐ 携帯電話・充電器 ☐ 携帯ラジオ ☐ 懐中電灯 ☐ 電池 ☐ 時計 ☐ 携帯カイロ ☐ ライター・マッチ ☐ ろうそく ☐ 缶切り ☐ ナイフ ☐ 眼鏡 ☐ ロープ ☐ カセットコンロ ☐ 固形燃料 ☐ 調理器具
衣類	☐ 上着（防寒着）・下着・靴下 ☐ 携帯レインコート
生活用品	☐ ウエットティッシュ・ティッシュ ☐ ゴミ袋・ポリ袋 ☐ タオル



停電時の情報アプリ

- ◆ 事前に設定したエリアで停電が発生したときや、復旧した際にプッシュ通知でお知らせします。
- ◆ 停電エリアが地図で簡単に確認できますので、事前に登録しておく便利です。



突然の停電…
そんな時、
スマートフォンが
あなたに情報をお届けします！
まずはアプリをダウンロード！
中国電力ネットワーク
停電情報



※別途通信料がかかります。

6. 避難に必要な備え

(2) 避難時の留意点

■ 避難するときには長靴はダメ！

長靴に水が入ると、重たくなります。水に強いと思われがちな長靴ですが、逆に避難するときには足手まといになってしまう場合がありますので、避難するときは、底の厚い運動靴をはきましょう。
水深が 50cm 以上になると、大人でも避難が難しくなります。



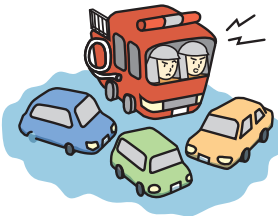
■ 避難するときには傘を持って！

氾濫水は茶色く濁っていて、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動するときには、傘や杖などで足元を確認しながら移動しましょう。



■ 自動車はもちろん厳禁。自転車もダメ！

車での避難は交通渋滞を招き、緊急車両の妨げになります。
できるだけ徒歩で避難しましょう。
洪水時の運転は、ブレーキが利きにくかったり、車ごと流される危険があります。過去の豪雨災害では、車で移動中に被害にあって亡くなる「車中死」も多く報告されています。



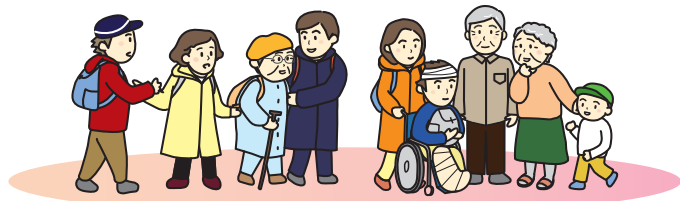
■ 日没までに避難する！

夜間は周囲の状況が確認しにくく、大変危険です。
できるだけ日没までに避難してください。



■ 近所のお年寄りなどに声をかけて避難する！

お年寄りや子ども、病気の人など、早期の避難が必要な人たちの避難にも協力してください。



コラム 隣近所の協力による早めの避難が重要です。 【岡山県倉敷市真備町の被害より】

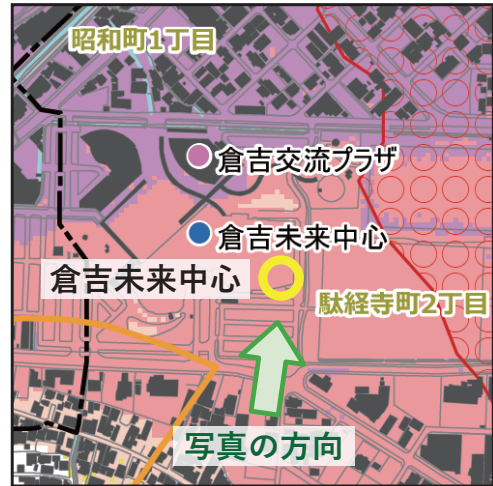
- ◆ 平成30年 7 月豪雨で被災した岡山県倉敷市真備町では、亡くなった51人のうち、8 割以上の42人が住宅 1 階部分で犠牲になり、その約 8 割が65歳以上の高齢者でした。
- ◆ 建物の形態別にみると、21人が平屋、21人が2 階建て以上の住宅やアパートに住んでいましたが、上階へと移動する「垂直避難」ができなかった可能性が高いと想定されます。
- ◆ 大雨が想定される場合は、隣近所の協力による早めの避難が重要です。

ポイント 倉吉市では大規模な浸水が想定されています。17ページの参考情報をもとに、自宅の浸水深等を把握し、適切な避難行動を考えましょう。

【参考情報】洪水時の浸水状況（イメージ写真）

倉吉未来中心

浸水深：約 5 m



白壁土蔵群

浸水深：約 3 m



円形劇場

浸水深：約 2 m

